

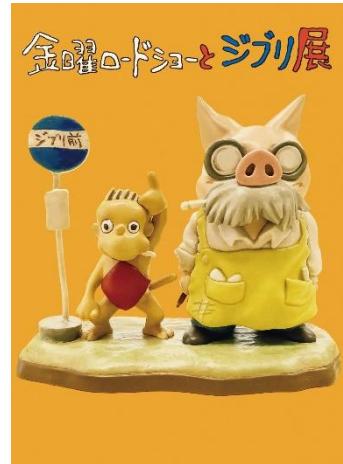
【2026年4月～7月・愛媛 松山にて開催のお知らせ】

チケットは1月2日より販売スタート！！

「金曜ロードショーとジブリ展」愛媛展

会期／2026年4月17日（金）～7月5日（日） 会場／愛媛県美術館

2026年4月17日（金）～7月5日（日）の期間、
愛媛県美術館にて「金曜ロードショーとジブリ展」愛媛展を開催いたします。
あなたの「初めての映画」は金曜ロードショーではなかつたでしょうか？
昭和 平成 令和と「映画」と私たちをつないできた「金曜ロードショー」。
公開年に関わらず名画と出会うことができた時間。
知らなかつた世界に初めて出会う時間。
そんな番組が始まった1985年（昭和60年）は、
スタジオジブリが「スタジオ開き」をした年でもあります。
本展ではその1985年を起点に、「金曜ロードショー」の歴史を辿りながら、
時代の流れとともに見えてくるスタジオジブリ作品の魅力を紹介します。



©Studio Ghibli

開催概要

【展覧会名】「金曜ロードショーとジブリ展」愛媛展

【開催期間】2026年4月17日（金）～7月5日（日）

【開催会場】愛媛県美術館 [〒790-0007 愛媛県松山市堀之内]

【開館時間】9:40～18:00 ※最終入場は17:00まで

【休館日】4月20日（月）、27日（月）、5月7日（木）、11日（月）、18日（月）、25日（月）

6月2日（火）、8日（月）、15日（月）、22日（月）、29日（月）

【料金】一般（大学生含）1,900円／中・高生 1,600円／小学生 1,100円

※土日祝、振替休日、4月30日（木）、5月1日（金）、6月30日（火）、7月1日（水）、2日（木）、3日（金）
は日時指定制（9:40～10:00までは20分区切り、それ以降は30分区切りの日時指定）

販売期間：1月2日（金）10:00～7月5日（日）※売切次第終了

チケット販売所：愛媛展公式オンラインチケット、ローチケ、日テレゼロチケ

※チケット料金は全て税込み価格。※未就学児は入場無料。

※会場の愛媛県美術館でのチケット販売は行いません。

※学生料金でご入場の際は、学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方とその介助者（1名まで）の料金は無料です。

ご入場の際は、受付にて手帳をご提示下さい。

※団体料金の設定や、各種割引はありません。

【主催】金曜ロードショーとジブリ展愛媛展実行委員会（愛媛県・南海放送）

【共催】日本テレビ

【特別協賛】au（KDDI株式会社）

【協賛】TOPPAN クロレ

【展示協力】ア・ファクトリー

【特別協力】スタジオジブリ

【お問合せ】金曜ロードショーとジブリ展愛媛展実行委員会事務局（南海放送内）Tel089-915-3838

【展覧会公式HP】<https://kinro-ghibli.com/ehime/>

※記載内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は公式HPをご確認ください。

どんな展示？① 時代ごとに紐解くジブリ作品の魅力

“金ロー”とジブリのヒストリーを辿る圧巻のデータベース！

「金曜ロードショー」はこれまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放送してきました。その歴史はスタジオジブリが人気を確立し、作品の評価を不動のものとしていく足跡とともにあり、現在も続いている。番組の放送が始まった1985年は、スタジオジブリが“スタジオ開き”をした年であり、日本テレビが特別番組で「風の谷のナウシカ」を初放送した年です。本展ではそんな1985年を起点に、スタジオジブリ作品の公開年、そして「金曜ロードショー」で初放送された年がどんな時代だったのかを振り返りながら、記憶と記録を通じて作品が持つ時代性と普遍性を浮かび上がらせていきます。



©Studio Ghibli

名シーンを絵コンテで振り返る！ジブリ作品の“設計図”に迫る

「風の谷のナウシカ」から「アーヤと魔女」まで、ほぼ全作品の絵コンテの一部を展示。絵コンテとは、いわば映画の設計図。シーンの流れをコマ割りしたもので、場面構成やセリフなど演出イメージがつかれます。作品の生まれる過程を見られる貴重な機会となるでしょう。

どんな展示？② ジブリ映画ポスター・スタジオ

ポスターの主役はあなた！

スタジオジブリ作品のポスターの中に飛び込んで、主人公のように撮影できる空間。そこはまるで架空のスタジオに迷い込んだような場所。作品の主人公になった気分で楽しみましょう！撮影可能な作品は「魔女の宅急便」「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」「猫の恩返し」「崖の上のポニョ」「君たちはどう生きるか」。

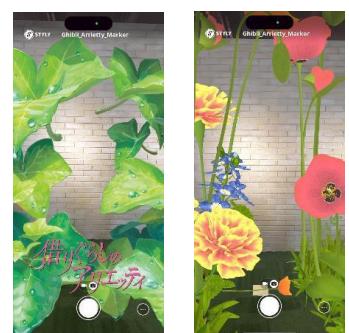


©Studio Ghibli

小人になれる？不思議なAR体験

「アリエッティの世界」AR

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。アプリ「SATCH X」をダウンロード（無料）し、会場内にある「借りぐらしのアリエッティ」ポスター付近のARマーカーを読み込むと、アリエッティと同じ目線で巨大な植物と虫たちが溢れる世界をARで体験できます。画像、映像はスマートフォンに保存できます。



©Studio Ghibli ※イメージ

どんな展示？③ ジブリの幻燈楼

音と光に包まれる幻想的な空間

巨大な「ジブリの幻燈楼」が登場！「幻燈」とは、フィルムや造形物などに強い光を当て、レンズで幕などに拡大映像を投影して見せることができる装置。ガラスの町・富山の富山ガラス造形研究所、富山ガラス工房、地元作家らが制作を担当し、スタジオジブリが監修しました。

キャラクターをモチーフとしたガラスに光を照射することで、映画の世界観を音と光に包まれながら体感できます。



©Studio Ghibli

どんな展示？④ 風の谷のナウシカ 王蟲の世界

“金ロー”とジブリの原点

「金曜ロードショー」とスタジオジブリのヒストリーの原点といえば「風の谷のナウシカ」。本展では、映画に登場する“腐海”的空間を、稀代の造形作家として世界に多くのファンを持つ竹谷隆之さんらが作った造形物で表現します。圧巻のクオリティで作られた王蟲、大王ヤンマ、ムシゴヤシなどが待つ空間は、来場者を魅了することでしょう。



©Studio Ghibli



©Studio Ghibli

腐海へ迷い込むAR体験

「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」王蟲AR

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。アプリ「SATCH X」をダウンロード（無料）し、王蟲の展示場所にあるARマーカーを読み込むと、大迫力の王蟲たちがARで出現。何が起こるかは会場でお確かめください。



©Studio Ghibli ※イメージ

「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」とマチカメ撮影

特別協賛のau（KDDI）の協力により、ARコンテンツを提供します。プロ仕様の構図で写真撮影ができる遠隔カメラ「マチカメ」で、腐海のなかで王蟲と一緒にいるかのような写真を撮影することができます。

※写真は全て他会場の様子です。

どんな展示？⑤ 高さ約3mで表現された「油屋」は迫力満点！

『千と千尋の神隠し』の“油屋”が登場

宮崎駿監督が描いた「千と千尋の神隠し」のイメージボードをもとに、2014年に制作された湯屋「油屋」の模型展示で、工芸職人が映画のシーンを何度も見返し、手作業で作り上げました。

高さ約3mで表現された「油屋」は迫力満点！昼間は静かな様子ですが、日が暮れ夜になると不思議なお客様が訪れて…？

「油屋」での一日をじっくりと体感してください。



©Studio Ghibli

金曜ロードショー

1985年から日本テレビ系で放送されている映画番組。72年から放送されていた「水曜ロードショー」の放映曜日が金曜日に移ったのを機に、名称を変更しあらたにスタート。86年に「風の谷のナウシカ」を初放映（※）して以来、これまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放映。97年から2009年までは、スタジオジブリが制作したオリジナルのムービー（音楽：久石譲）がオープニングを飾りました。キャラクターの“フライデーおじさん”は宮崎駿監督が生み出し、「耳をすませば」の近藤喜文監督が仕上げたものです。

※「風の谷のナウシカ」の初放映は85年、日本テレビの特別番組。



©Studio Ghibli

【報道に関するお問合せ】

金曜ロードショーとジブリ展愛媛展実行委員会事務局（南海放送内）

TEL／089-915-3838（平日10:00～17:00）